

# 2025年度 学校評価 アンケート結果

2026年3月18日  
善行森の幼稚園

## 本園の教育目標

善行森の幼稚園は、毎日の生活の主役が子どもたち。一人ひとりが自分で考え、行動できるようになる。その子なりの歩みで、一步一步成長していき多くの人と関わりながら自分を創っていくことができるよう、一人ひとりの子ども達を見守っていきます。

## 本年の重点的に取り組む目標

- ・自分なりの歩みで、考え行動できるようになる
- ・異年齢保育の中で、年齢に関係なく憧れや思いやりをもてる
- ・自由保育の中で社会性を持ち、自分が楽しみ、満足いくまで活動できる

## 自己評価

自己評価として職員に分野別の21問のアンケートを実施し、4段階(4:よくできている、3:概ねできている、2:少し努力が必要、1:努力が必要)で回答を得た。平均値3以上をA、2以上をBとして結果は以下のとおりとなった。

## 質問内容

- ・教育方針・理念の共有(森の幼稚園の教育理念を理解しているか) 4問
- ・保育の質・子どもの理解(教諭として学び続けているか) 5問
- ・安全管理とリスクマネジメント 3問
- ・保護者支援・外部との関り 5問
- ・職員間の協力体制 4問

評価項目	取り組み状況	評価
教育方針・理念の共有	子どもが生活の主役、自分で活動できる自立につながる援助を行う	A
保育の質・子どもの理解	子どもの育ち、興味関心をとらえ、教諭として知識を更新する	A
安全管理とリスクマネジメント	自然環境の危険の理解、禁止するだけでなく何故危険なのか指導する	B
保護者支援・外部との関り	挨拶をなど子どもの手本となる。子どもの成長について保護者との共有を行う	B
職員間の協力体制	園全体で子どもの様子を共有し、日々の保育の振り返りと反省を行う	A

## アンケートの結果

教育方針・理念の共有、保育の質、子ども理解、職員間の協力体制は概ねA判定であったが、安全管理とリスクマネジメント、保護者支援・外部との関りについてはB判定の結果となったが、すべての回答において「概ねできている」以上の結果となった。

## 今後の課題

安全管理においては、普段訓練で行っている災害対応について、子どものケガ(特に大きなけがの場合)の対応について実際に起こった時に適切に対応、判断、連絡ができるか不安があるといった自由記述もあり、今後研修や訓練を重ねていく必要性を感じた。保護者支援外部との関りについては、保護者に向けて教諭としての適切なアドバイス、子どもの様子を上手に共有し、子育てを援助できる方策を学び続けなければならないなど、今後も学び続けなければならないことを感じた。